平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場会社名　第一商品株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8746　URL　http://www.dai-ichi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 落岩　邦俊
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長　(氏名) 前川　邦彦　TEL 03-3462-8011

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,959	73.6	1,694	―	2,173	―	1,251	―
23年3月期第2四半期	2,857	24.6	△374	―	△395	―	△552	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	80.91	―
23年3月期第2四半期	△35.53	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	45,670	9,299	20.4	601.36
23年3月期	36,928	8,206	22.2	530.50

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　9,299百万円　23年3月期　8,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	10.00	10.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
平成24年3月期(予想)の期末配当金の内訳は、普通配当10円、記念配当10円となっております。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,408	33.9	3,408	933.8	3,414	957.8	2,025	―	130.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	16,227,207 株	23年3月期	16,227,207 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	763,572 株	23年3月期	757,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,465,526 株	23年3月期2Q	15,534,399 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におきましては、欧州債務危機が依然収束の兆を見せず、欧州、米国を中心に景気後退懸念が台頭する中、中国をはじめとした新興国にも景気減速感が強まるなど、世界的な経済見通しに暗雲が立ち込める様相となりました。

わが国経済においては、東日本大震災に関する復興需要に期待が高まるものの、世界全体の景気減速に対する懸念等から将来の先行きに楽観できる状況にはなく、国内経済は停滞感が漂う結果となりました。株式市場におきましては、そういった動向を反映し、１万円台を回復していた日経平均は下落に転じ8,500円を割り込みました。

商品先物市場におきましては、欧州の債務危機により世界的に債券や株式といった金融市場に動揺が走り、質への逃避として実物資産の金へと資金が流れた結果、金価格は最高値を更新する運びとなりました。しかし金融危機の広がりに歯止めがかからず、金を始めとした商品全般にもポジション整理、換金売りといった動きが生じたことから、一時的に1,900ドルを突破した金価格も下落することとなり、９月後半は大きなボラティリティを呈することとなりました。

国内商品先物市場におきましては、そのような背景のもと取引は活況となり、当第２四半期累計期間の出来高は35,803千枚と前年同期比で20.4％の増加となりました。

このような状況の中、当社におきましては従来にもまして金に対するお客様の関心が高まり、当社が実施してまいりました金を主軸にしたサービス、資産運用提案が一層実を結ぶこととなりました。テレビＣＭ等による広範囲の啓蒙活動に加え、当社が長年にわたり培ってきた金に関する情報サービスを徹底してお客様に提供するなど、総合的な企業活動の結果として、当第２四半期累計期間における当社の出来高は579千枚、前年同期比で43.0％の増加となりました。

この結果、当第２四半期累計期間における営業収益は4,959百万円(前年同期比73.6％増)、営業利益は1,694百万円(前年同期は374百万円の損失)、経常利益は2,173百万円(前年同期は395百万円の損失)、当四半期純利益は1,251百万円(前年同期は552百万円の損失)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ8,742百万円増加し、45,670百万円となりました。

これは主に委託者差金が13,050百万円増加したこと等によるものです。

また、負債につきましては、前事業年度末に比べ7,649百万円増加し、36,371百万円となりました。

これは主に預り証拠金が6,532百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ1,092百万円増加し、9,299百万円となりました。

これは主に四半期純利益を1,251百万円計上し、配当金を154百万円支払ったこと等によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における当社業績については、概ね当初想定した範囲内で推移しており、現時点において、平成23年５月13日に公表いたしました通期の業績予想内容に変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,111,840	9,345,442
受取手形及び売掛金	151,656	510,511
委託者未収金	250,252	333,289
商品	543,152	567,425
貯蔵品	3,211	3,463
保管有価証券	4,165,130	5,112,375
差入保証金	13,257,512	9,303,690
委託者差金	1,655,415	14,705,434
外国為替取引預け金	1,479,825	714,656
その他	1,602,676	1,106,002
貸倒引当金	△4,422	△1,962
流動資産合計	33,216,252	41,700,328
固定資産		
有形固定資産	566,645	552,512
無形固定資産	97,222	91,937
投資その他の資産		
投資有価証券	91,351	80,303
固定化営業債権	2,522,515	2,477,555
破産更生債権等	1,383,575	1,383,575
その他	2,831,819	2,635,620
貸倒引当金	△3,780,804	△3,251,238
投資その他の資産合計	3,048,456	3,325,816
固定資産合計	3,712,324	3,970,266
資産合計	36,928,576	45,670,594

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,413	111,661
未払法人税等	46,748	77,967
賞与引当金	－	45,880
預り証拠金	23,638,291	30,171,280
預り証拠金代用有価証券	4,165,130	5,112,375
その他	294,470	394,048
流動負債合計	28,254,054	35,913,213
固定負債		
退職給付引当金	394,969	398,879
その他	20,274	13,201
固定負債合計	415,244	412,081
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	52,563	46,113
特別法上の準備金合計	52,563	46,113
負債合計	28,721,862	36,371,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,693,150	2,693,150
資本剰余金	2,672,071	2,672,071
利益剰余金	3,072,676	4,169,309
自己株式	△233,156	△235,211
株主資本合計	8,204,742	9,299,320
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,972	△133
評価・換算差額等合計	1,972	△133
純資産合計	8,206,714	9,299,186
負債純資産合計	36,928,576	45,670,594

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業収益		
受取手数料	2,678,310	4,765,023
売買損益	102,899	104,430
その他	76,290	90,534
営業収益合計	2,857,500	4,959,988
営業費用	3,231,928	3,265,246
営業利益又は営業損失（△）	△374,427	1,694,742
営業外収益		
受取利息	6,987	1,203
受取配当金	1,247	833
貸倒引当金戻入額	－	485,261
償却債権取立益	－	6,969
倉荷証券保管料	10,000	9,301
その他	7,361	5,104
営業外収益合計	25,597	508,673
営業外費用		
支払利息	3,677	513
為替差損	41,286	4,253
敷金償却費	－	2,000
取引所清算費用	－	23,495
その他	1,336	35
営業外費用合計	46,301	30,297
経常利益又は経常損失（△）	△395,130	2,173,118
特別利益		
固定資産売却益	345	－
商品取引責任準備金戻入額	108,663	196,941
償却債権取立益	3,520	－
特別利益合計	112,530	196,941
特別損失		
固定資産除売却損	840	373
商品取引責任準備金繰入額	102,021	190,491
投資有価証券評価損	13,680	7,497
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,824	－
減損損失	300	－
貸倒引当金繰入額	102,928	－
特別損失合計	258,593	198,363
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△541,194	2,171,696
法人税、住民税及び事業税	10,811	76,770
法人税等調整額	－	843,594
法人税等合計	10,811	920,365
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△552,005	1,251,331

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。